# 令和７年度第２回三条市教育事務点検評価委員会会議録

１　開会宣言　　令和７年７月 24 日（木）　午前 10 時 00 分

２　場　　所　　三条市役所栄庁舎２階 201 会議室

３　出 席 者　　雲尾委員長、阿部委員

４　欠 席 者　　佐藤委員

５　説明のための出席者

髙橋教育長、平岡教育部長、野水教育総務課長、小林子育て支援課長、
相田学校教育課長、樋口教育センター長、佐藤教育総務課長補佐、
井上教育総務課庶務係長

６　傍 聴 人　　なし

７　会議次第

１ 開会

２ 議事

(1)　令和６年度教育に関する事務の事後評価見え消し修正版について

(2)　令和６年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について

３ その他

４ 閉会

８　会議の経過及び結果

２ 議事

(1)　令和６年度教育に関する事務の事後評価見え消し修正版について

・本日の会議の進め方について、野水教育総務課長（説明）

・学校教育課所管分について、相田学校教育課長、樋口教育センター長（資料により説明）

（雲尾委員長）

では、学校教育課所管分につきまして、御意見、御質問等をお願いしたいと思います。

まず、１ページですが、１―（１）につきましてはいかがでしょうか。

（阿部委員）

今後の方向性のところの２行目なんですが、令和６年度に導入した一体型ソフトの ICT 活用状況を把握と書いてあるんですけど、これ「ICT」は必要なんでしょうか。私は取ってもいいのかなと思ったんですが、いかがでしょう。

（相田学校教育課長）

御指摘のとおりかなと思います。修正させていただきます。

（雲尾委員長）

ICT を取るということで。

ほかにございますでしょうか。

（阿部委員）

一番下の表の成果指標の、小学生に変えたというところ、何か私は違和感があるんですが、小学生４から６年生について、この辺りちょっとお聞かせいただければと思います。

（雲尾委員長）

では、次の１―（２）と併せて、いかがですか。

（樋口教育センター長）

小学校と言うと、前回の会議で御指摘いただきましたが、大崎学園というところが、小学校、中学校というところで紛らわしいのかなというところで、小学生、中学生というふうに変更させていただきました。それでもやはり分かりにくいというところや紛らわしいというところがあれば、また再度変更したいと思いますが、いかがでしょうか。

（阿部委員）

何かなじみがないような言い方だなと。もし変えるのであれば、小学４から６年生とか、そんな言い方もあるのかなと思いますが、いかがでしょう。

（樋口教育センター長）

御指摘いただいたとおり、小学４から６年生、中学１から３年生というような形で表現したほうが分かりやすいというか、誤解を生まないのかなというふうに思いますので、そのように変更したいなと思います。

（雲尾委員長）

それでよろしいですか。

（野水教育総務課長）

第１回の会議で、その点については報告書全体に関わる項目ということで、委員長から、当課のほうで取りまとめの段階で調整をというお話をいただいておりました。後ほど御覧いただくことにしております評価報告書（案）の３ページの一番下に、点線の四角囲みとし、この報告書の中で「小学校」、「中学校」という言葉が出てくるわけですが、この小学校には義務教育学校の前期課程を、中学校には義務教育学校の後期課程を、小学生や児童には前期課程生を、中学生や生徒には後期課程生を含むという断り書きを付けさせていただければと思っております。今ほど御指摘をいただいたところの修正については、この共通の３ページになっております米印の部分の表現と整合を図る中で修正対応させていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

（雲尾委員長）

元の小学校、中学校というのでもよいのではないかということでよろしいですか。

10ページの一番下、成果目標と目標値、今回書き込んでもらいましたけれども、ここにも「保育者や小学校１年生」というふうにありますので、この表現のほうが一般的でないかというのは、阿部委員の御意見でもあります。「校」を取るか取らないかということについては、じゃどうしますか。お任せしましょうか。

(阿部委員)

お任せします。

(雲尾委員長)

じゃ、他のところと併せて整合性を取っていただくということで、よろしくお願いいたします。

１―（１)、ほかにはよろしいですか。ありがとうございました。

１―（２）について、ほかにございましょうか。

(阿部委員)

修正をされている表の、想定される主な取組のところで「刃物」を消してありますが、その下の表の６年度の中には、黒ポチの３つ目、「刃物」がついているんですが、これは特に見え消した、取り消さなくてもよろしいんでしょうか。

(樋口教育センター長)

私のほうの間違いでありました。こちらのほうについても「刃物」を取らせていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

６年度のほうの取組の「刃物・」は取るということですね。

そのほかよろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、１―（３)、３ページに対してはいかがでしょうか。

～　「なし」　～

２―（１)、４ページについてはいかがでしょうか。

～　「なし」　～

２―（２)、５ページについてはいかがでしょうか。

～　「なし」　～

そして、３―（１)、６ページについて、いかがでしょうか。

～　「なし」　～

---

・教育総務課所管分について、野水教育総務課長（資料により説明）

(雲尾委員長)

では、３―（２)、７ページにつきましてはいかがでしょうか。

～　「なし」　～

３―（３）、８ページについて、いかがでしょうか。

ちなみにですが、端末は今はクロームブックですか。

（野水教育総務課長）

はい、クロームブックです。

（雲尾委員長）

新たに導入する端末は何ですか。

（野水教育総務課長）

クロームブックです。

（雲尾委員長）

クロームブックということですか。分かりました。

この間、村上市がクロームブックからアイパッドに替えるような話も聞いたところなので、アイパッドに大分安い端末も出たようなので、買えるのかなと思ったんですが、そのままクロームブックということですか。一般的には、将来社会に出たときにクロームブックは使わないんじゃないかという懸念があるのと、おおよそ、村上で今、クロームブックで写真撮影等しているわけなんですけども、起動に時間がかかって、撮った画質があまりよくないから、子供たちがあんまり楽しくないと。アイパッドにすると、すぐ起動できて、画質もいいから、これから楽しく学べるんでないかといったような話をしていたんです。そういう点でいうと、クロームブックで決まっているということなら、それはそれで仕方がないと思いますけれども、学校現場としてはどうなのかなという意見はあったんですか。

（野水教育総務課長）

今回県のほうからは、クロームブック、またアイパッド、２種類の整備が可能である旨の話をいただいておりました中で、当市としてはこれまで使用してきたクロームブックを継続していくのか否かについて、教育センターを中心に、学校現場の状況も踏まえた中で検討を重ねたところであります。また、近隣他市の導入状況についてもリサーチをした中で、三条市としては引き続きクロームブックを導入していくという結論で、今調達に向けた手続を進めているところでございます。また、委員長からお話のあったように、まずは現場での学習効果が上がることが一番大事な部分でありますので、調達担当として現場の声をよく聴き、使い勝手のいいもの、安心して使えるものの導入を図ってまいりたいと思います。よろしくお願いします。

（雲尾委員長）

では、内容についてはこれでということで。

・子育て支援課所管分について、小林子育て支援課長（資料により説明）

（雲尾委員長）

では、４―（１）、９ページについてはいかがでしょうか。

（阿部委員）

御説明いただいた今後の方向性の（１）番、前にもお話ししたんですけど、運動遊びについては直していただいて分かりやすくなったんですが、最初の体験活動についてはこのままでよろしいでしょうか。体験活動を「実施する」となると、教育委員会が実施するような意味になるんですけども。

（小林子育て支援課長）

体験活動につきましても、これは各施設が実践するというような形で、分かりやすく修正させていただきたいと思います。

（雲尾委員長）

そのほかございませんか。

評価の（３）のところ、年中児発達参観についてはのところの２行目が92％になっているんですけれども、この文章のほかのところでは96.4％と、少数第一位まで出していますので、92.0％ですか、そういう形で入れていただきたいと思います。

（小林子育て支援課長）

すみません。こちらだけ小数点以下の表記がありませんでしたので、修正をさせていただきたいと思います。

（雲尾委員長）

お願いいたします。

では、４―（２）でございます。10ページにつきましてはいかがでしょうか。

これも今ほど言いましたところでいうと、令和６年度中に実施した主な取組の（１）、幼保・保保交流が77.7％となっている以上は、幼保小交流も職員交流も100.0％にすることと、あと評価の（１）の２行目、「昨年度に比し」ですので、これも前年度に直していただくという形でお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（小林子育て支援課長）

御指摘の点、修正させていただきますし、あと評価の（３）のところも80％、20％という表記がございますので、こちらも小数点第一位まで記載させていただきます。

（雲尾委員長）

ここは、１文の中で合っていればいいといえばいいんですね。80、20、100ですか、なっているので、要は全部で20校ということですかね。という形で割り切れていて、どう

ですかね、全体としては全部統一するか。１文の中では統一されているので、僕は気にはならなかったんですが、全体の統一をどう図るかというのを検討していただければと思います。

（小林子育て支援課長）

そちらは統一できるように検討させていただきたいと思います。

（雲尾委員長）

では、お願いします。

次に、４―（３）、11 ページについてはいかがでしょうか。

（阿部委員）

見直しをしていただいた一番下の成果指標の言葉で、「「送迎時の会話」の充実を行った」となっていますが、６年度の評価の１文目には「充実を図った」となっていて、表現が異なっているんですが、これはこのままで「行った」でよろしいんでしょうか。

（小林子育て支援課長）

こちらも統一するように、修正をさせていただきたいと思います。

（雲尾委員長）

充実を行ったというのは、何か日本語として適切ではないと思います。

（小林子育て支援課長）

「図った」に統一をさせていただこうと思います。

１つ、すみません。会話を行ったということで、「充実」を取る予定でおりました。会話を行った保育者の肯定的割合というような形で修正させていただきます。

（雲尾委員長）

成果指標の部分ですね。送迎時の会話を行った。「充実」を取るということですね。

（小林子育て支援課長）

はい。

（雲尾委員長）

送迎時の会話を行った保育者の肯定的評価の割合ということですね。

（小林子育て支援課長）

こちらにつきましては分かりやすい表現に、改めて修正をさせていただきたいと思います。

（雲尾委員長）

よろしいでしょうか。ほか、ないですか。ありがとうございました。

---

(2)　令和６年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について

・野水教育総務課長（資料により説明）

（雲尾委員長）

事務事業の説明につきまして、御発言ありましたらお願いいたします。

（阿部委員）

（案）の３ページ目に、教育課程のところですが、６年度中に実施した主な取組の黒ポチの４つ目、アプリ等の試行導入となっています。こっちの見え消しの表のほうでは試行という言葉は入っておりませんが、これは、この「試行」は入っていてよろしいんでしょうか。

（野水教育総務課長）

大変失礼しました。この報告書については、基本的には御確認いただいたこのシート、こちらがあくまでベース、基本となりますので、こちらでいただいた御意見を反映した修正内容がそのままこちらに登載されるべきものになっておりますので、この評価シートのほうの記載を前提として、そのまま載せさせていただきますが、その整合が取れておりませんで失礼しました。「試行」は入らないということでお願いしたいと思います。

（雲尾委員長）

17 ページの第 10 回定例会の前に「年」が抜けていますので、お願いいたします。

（阿部委員）

12 ページの（３）の「年中児発達参観については、全園施設」になっているんですが、先ほどの説明の中で「園」を「施設」に替えていくということだったんで、「園」を削除する必要があるかなと思います。

（雲尾委員長）

ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

---

３ その他

・今後の流れについて、野水教育総務課長（説明）

---

４ 閉会宣言　午前 10 時 38 分